

日本農業経済学会 2026年度大会 特別セッションプログラム
(2026年3月29日 鳥取大学 共通教育棟)

会場: C21講義室

時間	テーマ・報告		
特別セッション1 9:00-11:30	テーマ	水田の移動と利用の現段階 —2027年度水田農業政策見直しの前提条件—	
	座長	西川邦夫(茨城大学)・渡部岳陽(九州大学)	
	コメンテーター	渡部岳陽(九州大学)・西川邦夫(茨城大学)・吉田俊幸(農政調査委員会)	
	第1報告	報告タイトル	水田農業をめぐる環境変化と北海道米産地の対応—道央圏A農協を事例に—
	報告者	東山寛(北海道大学)・桑原考史(日本獣医生命科学大学)	
	第2報告	報告タイトル	秋田県大潟村における水田作の担い手—水田の移動と利用に注目して—
	報告者	西川邦夫(茨城大学)	
	第3報告	報告タイトル	みどり戦略下における有機稲作拡大の現状—栃木県小山市を事例に—
	報告者	桑原考史(日本獣医生命科学大学)・安藤光義(東京大学)	

会場: C31講義室

時間	テーマ・報告		
特別セッション2 9:00-11:00	テーマ	人口減少下における農業と農村のあり方を考える —農業生産と地域社会の維持に向けて—	
	座長	萩原英樹(農林水産省)	
	コメンテーター	中島正裕(東京農工大学)・荏林幹太郎(総合地球環境学研究所)・岡司直也(法政大学)	
	第1報告	報告タイトル	地域政策としての農村政策
	報告者	野々村圭造(農林水産省)	
	第2報告	報告タイトル	距離と人口を考慮した農村地域の地理的分析
	報告者	國井大輔(農林水産政策研究所)	
	第3報告	報告タイトル	日本型直接支払制度の見直しに向けた課題
	報告者	木村崇之(農林水産省)	

会場: D21講義室

時間	テーマ・報告		
特別セッション3 9:00-12:00	テーマ	外国人農業労働者雇用の現状と展望 —特定技能制度の活用を軸に—	
	座長	堀口健治(早稲田大学)	
	コメンテーター	石田一喜(農林中金総合研究所)	
	第1報告	報告タイトル	大規模稲作経営に雇用されるオペレータとしての外国人労働者
	報告者	軍司聖詞(早稲田大学)	
	第2報告	報告タイトル	外国人労働者の産地間移動の実態と成立条件
	報告者	宮入隆(北海学園大学)・東山寛(北海道大学)	
	第3報告	報告タイトル	農業分野における特定技能2号合格者の試験対策と学習支援の実態
	報告者	吉満一貴(東京農業大学)	
	第4報告	報告タイトル	新たな移民制度下での英国農業分野における外国人労働者受入制度の再編
	報告者	桑原田智之(農林水産省農林水産政策研究所)	

会場: D22講義室

時間	テーマ・報告		
特別セッション4 9:00-11:30	テーマ	鳥取県から全国へラストワンマイルがつなぐ中山間地域のコミュニティと食 —鳥取県日野町の事例を中心に地域振興の課題と未来を考える—	
	座長	林 岳(農林水産省農林水産政策研究所)	
	コメンテーター	小堀陽平(鳥取県庁中山間・地域振興課)・神崎 猛(鳥取県日野町役場企画政策課)・木原奈穂子(鳥取大学)	
	第1報告	報告タイトル	中山間地域における幸福度向上の可能性:鳥取県日野町の調査結果に基づく示唆
		報告者	門脇悠一郎((株)中海テレビ放送 地域創造本部Chukai-TVライター・ラボ) 法理樹里・丸山優樹・若松宏樹・林 岳(農林水産省農林水産政策研究所)
	第2報告	報告タイトル	生活構造からみる現代農山村の社会的アクセス:暮らしの変容と地域自治の再編
	報告者	東良太(鳥根県中山間地域研究センター)・川上宏(鳥取県日野町役場)	
	第3報告	報告タイトル	中山間地域が抱える食料品アクセス問題の実態とその対策
	報告者	丸山優樹・玉木志穂(農林水産省農林水産政策研究所)	
	第4報告	報告タイトル	山間地域における高齢者の食事準備行動の実態:店舗へのアクセス後の状態に着目して
	報告者	清原昭子(福山市立大学)・大宮めぐみ(山陽学園大学)	
	第5報告	報告タイトル	人口減少地域における買い物環境の確保に向けた公民連携の課題と可能性
	報告者	小林広生(総務省地域力創造グループ過疎対策室・地域振興室)	